



男女共同参画社会に関する県民意識調査

報 告 書

概 要 版

令和2年3月

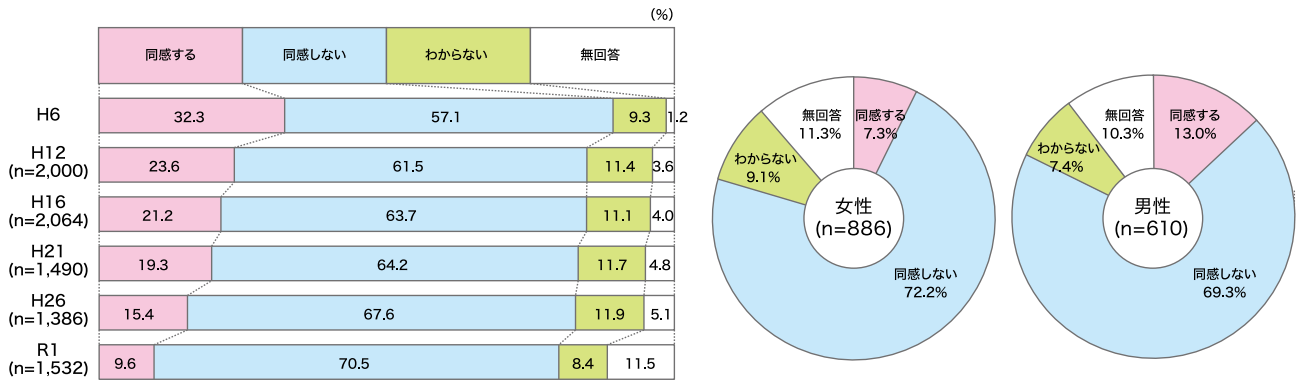
岡 山 県



1 男女の役割分担意識や家庭観について

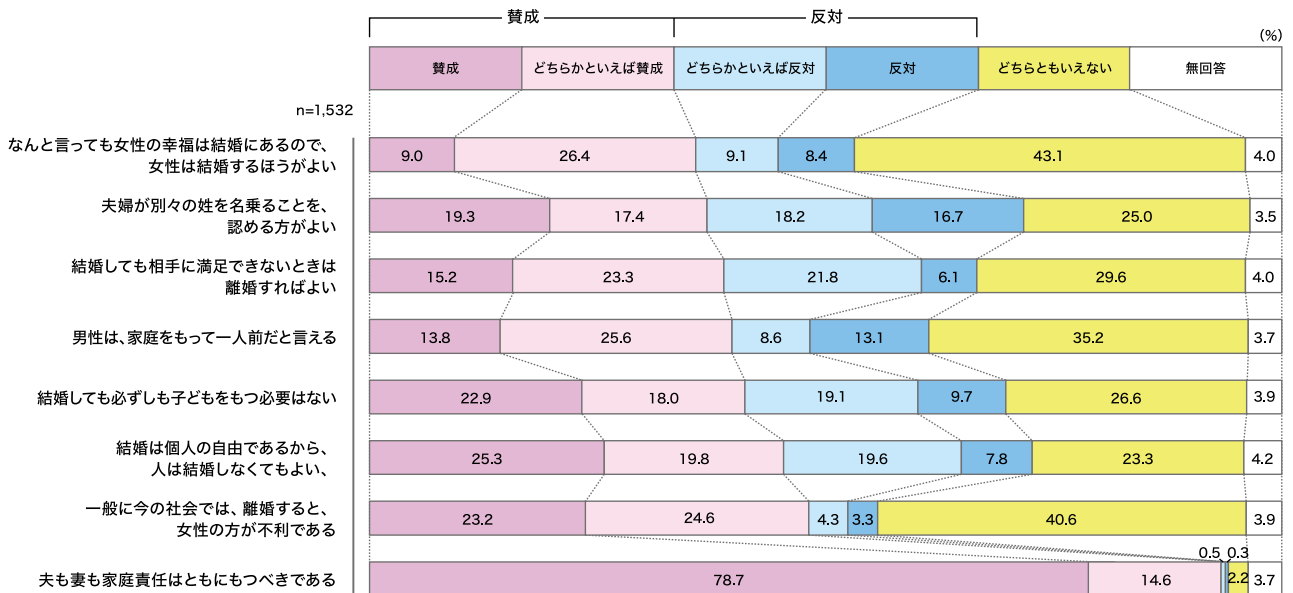
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」という考え方に約7割が「同感しない」



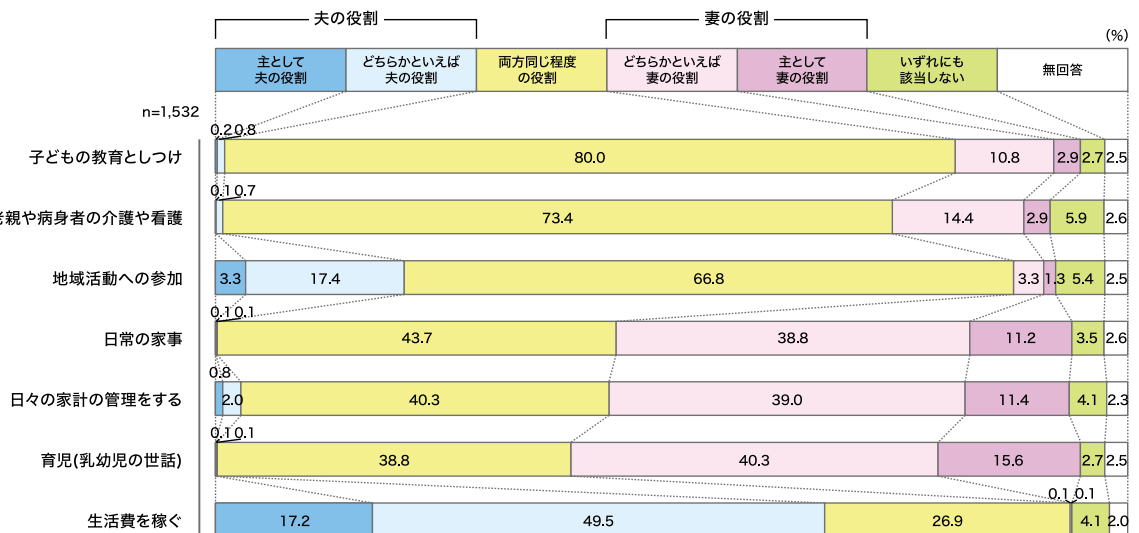
結婚・離婚・夫婦別姓等についての考え方

「夫も妻も家庭責任はともにもつべきである」は9割以上が『賛成』



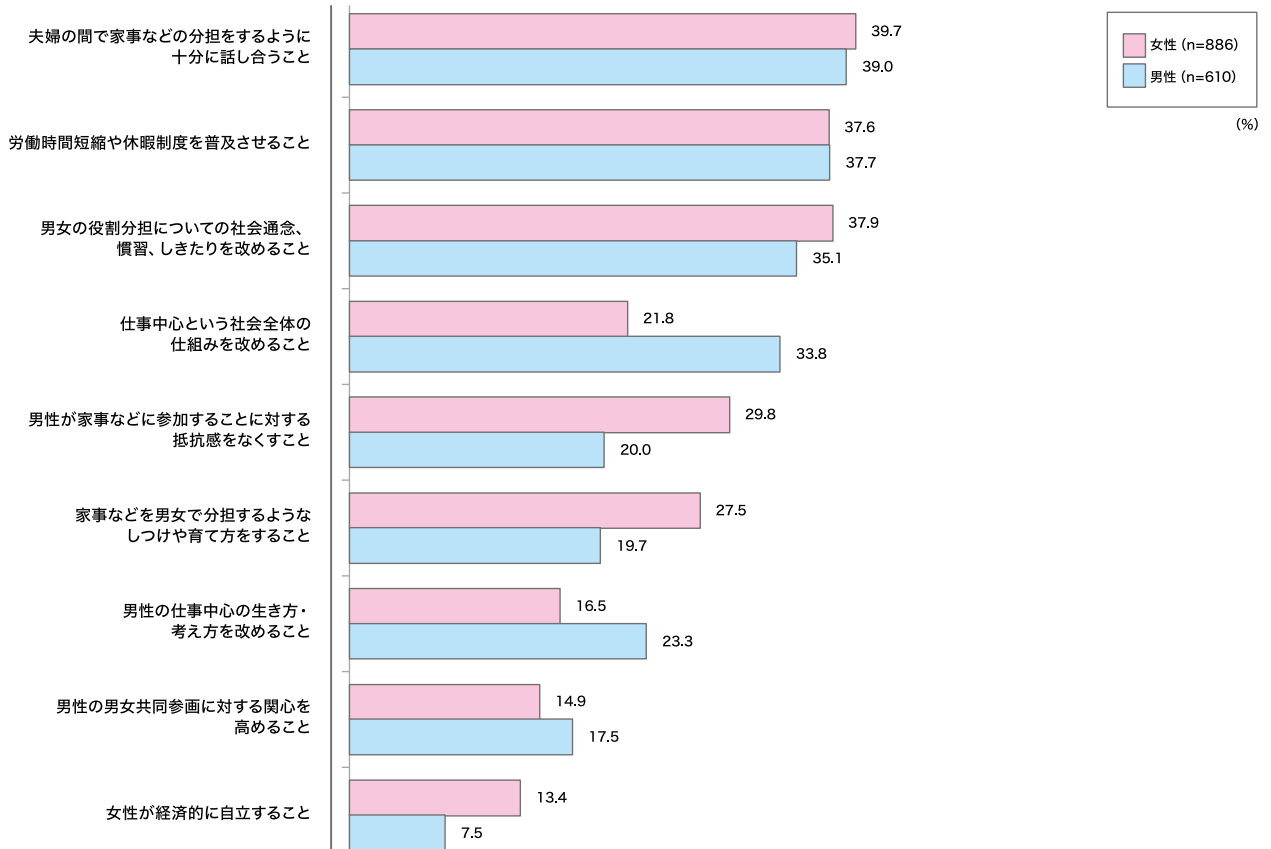
家庭での役割についての考え方

「日常の家事」、「日々の家計の管理」及び「育児」は妻の役割、「生活費を稼ぐ」は夫の役割との認識が強い



男女がともに家事、子育て、介護、地域活動などに参加するために必要なこと（上位9項目） （複数回答）

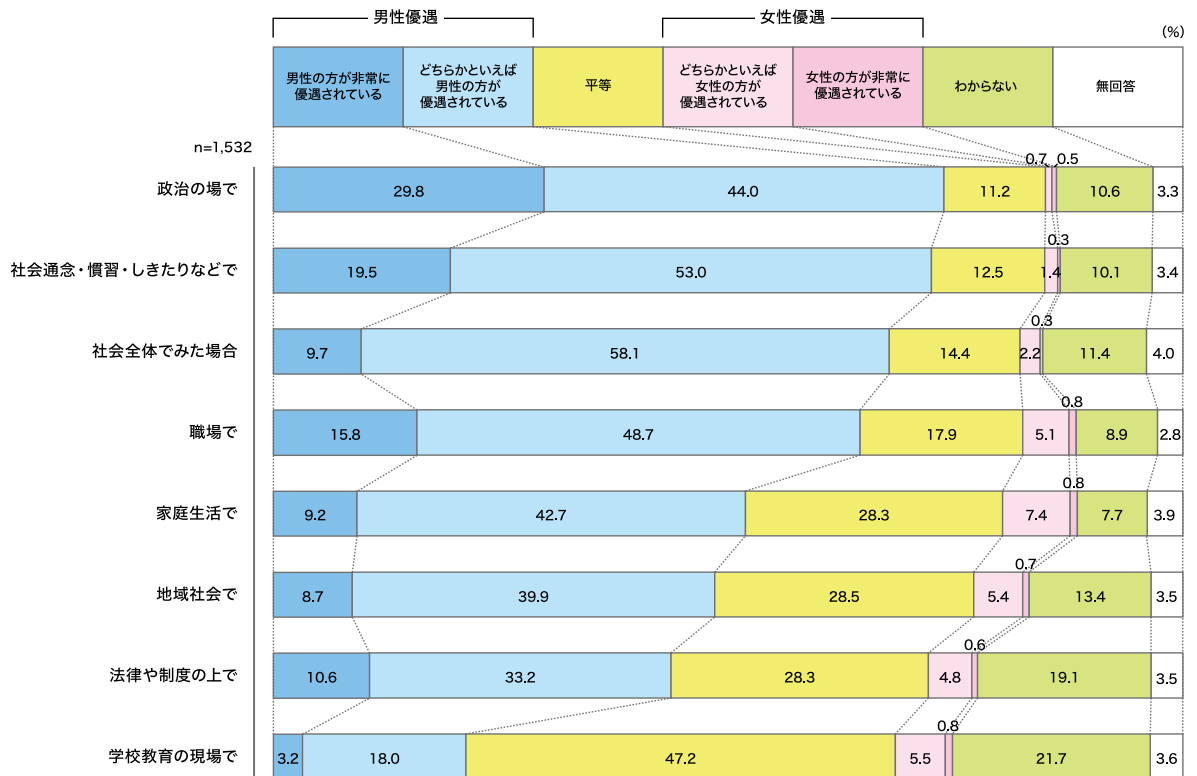
「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が男女ともに最も高い



2 男女の地位の平等などについて

各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

「学校教育の現場で」を除くすべての分野で、『男性優遇』と強く感じられている

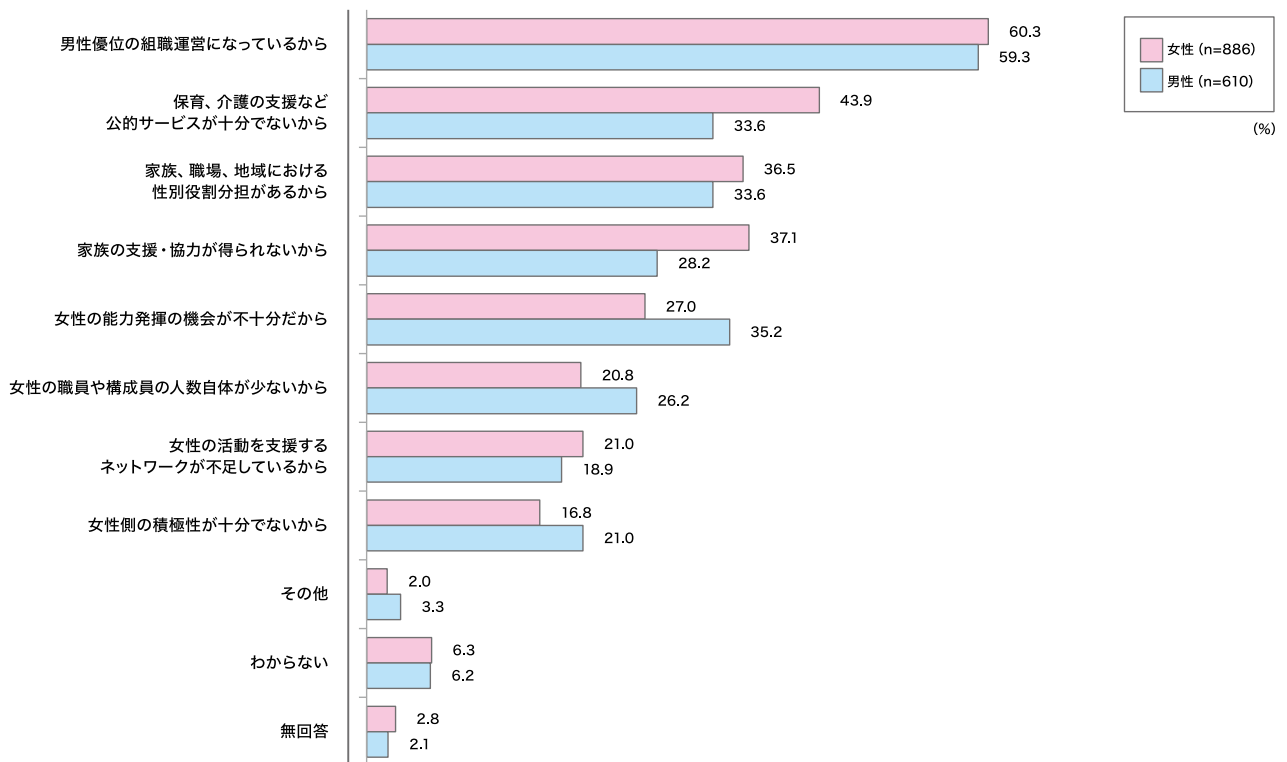


3 女性の参画について

政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由

(複数回答)

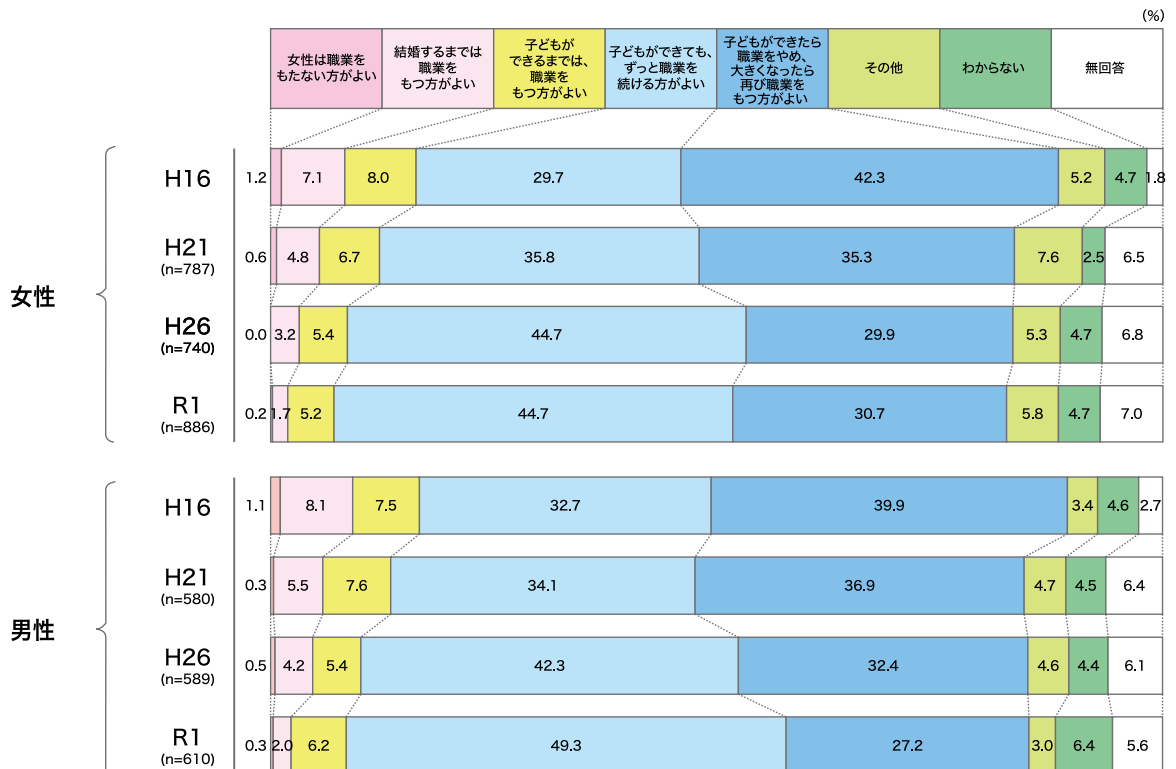
「男性優位の組織運営になっているから」が男女とも最も高く、女性では6割を超えている



4 女性の就労について

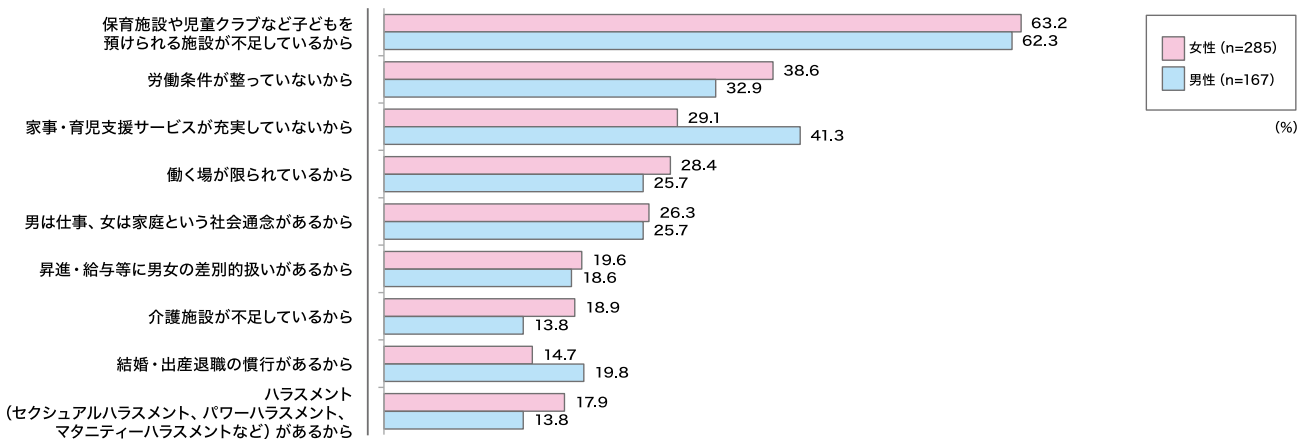
女性が職業をもつことについての考え方

「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が男女とも最も高い



女性が働きにくい理由（上位9項目） 対象：働きやすい状況にあるとは思わない人（複数回答）

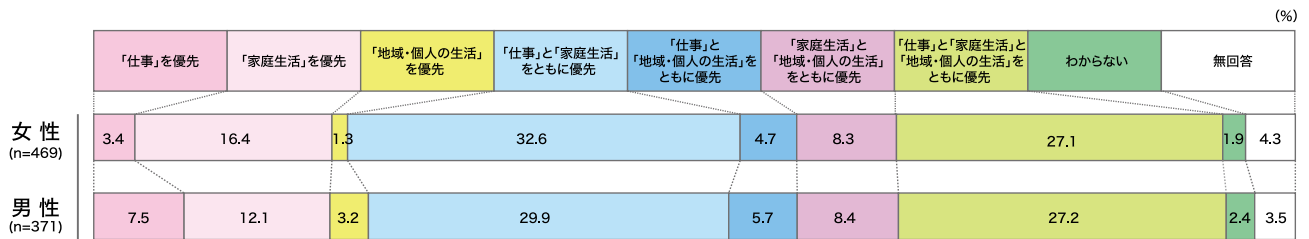
☑ 「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が男女ともに6割を超えている



5 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

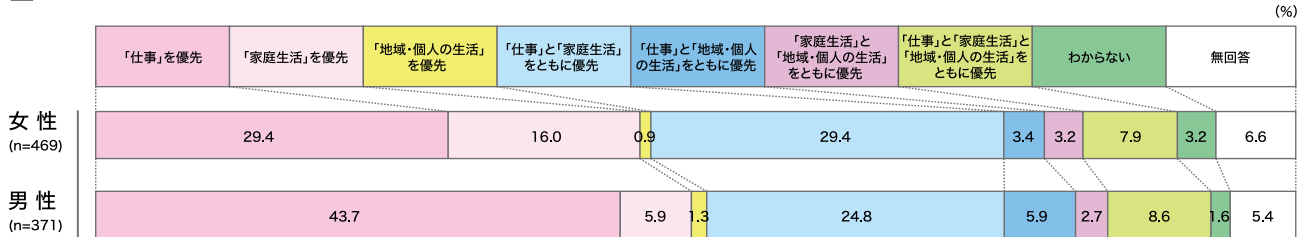
〈希望〉就労している人の日常生活における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

☑ 『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が男女ともに約3割で最も高い



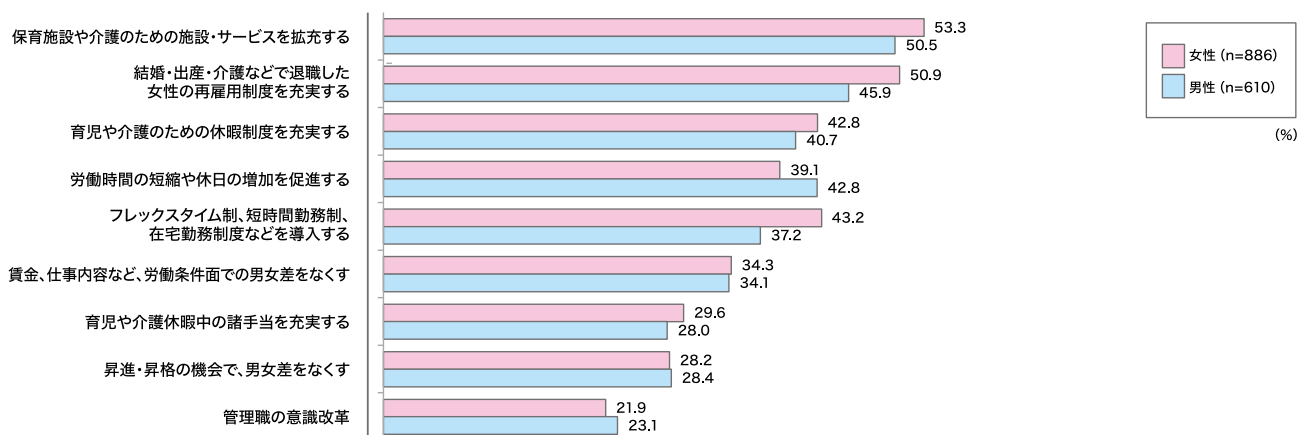
〈現実・現状〉就労している人の日常生活における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

☑ 女性は『「仕事」を優先』と『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が約3割、男性は『「仕事」を優先』が約4割で最も高い



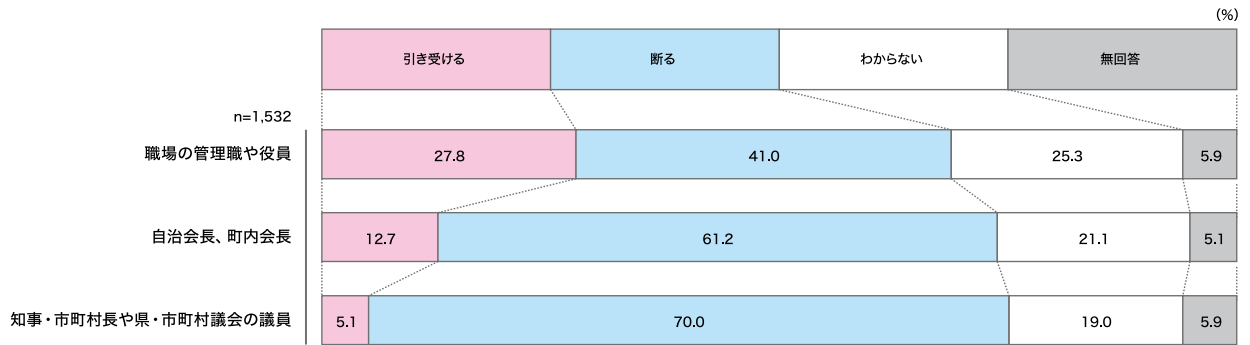
男女が共に「仕事と生活の調和」を実現するために必要なこと（上位9項目） 〈複数回答〉

☑ 男女ともに「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」ことへの期待が強い



役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方

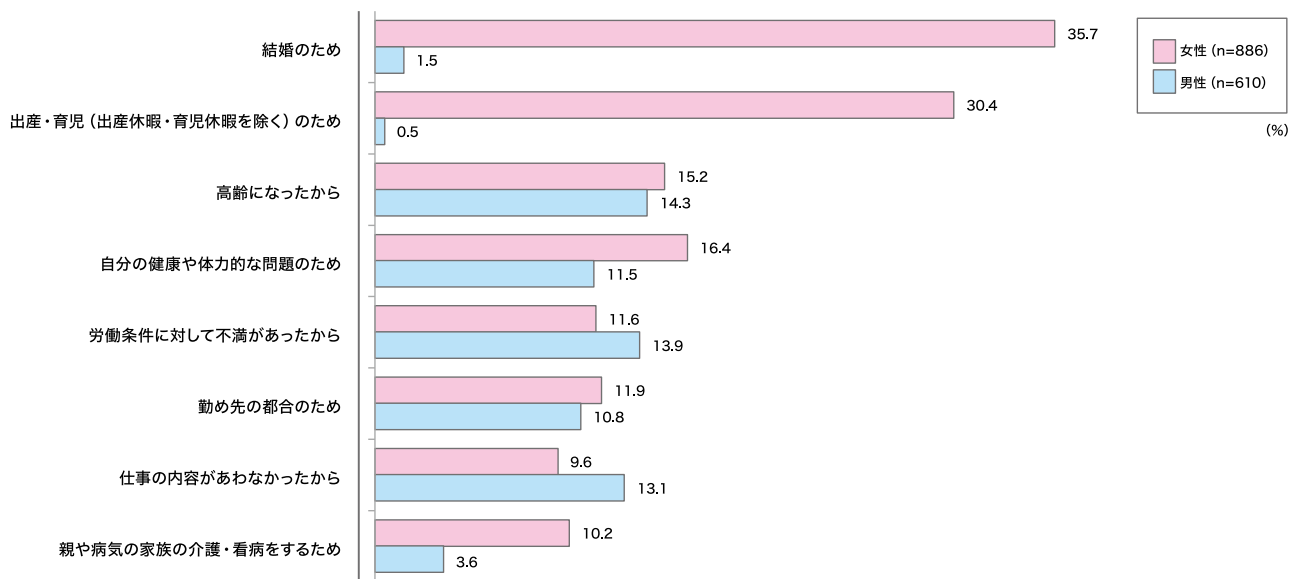
すべての役職において、就任や立候補の依頼を「断る」が最も高い



仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（上位8項目）

〈複数回答〉

女性は「結婚のため」、「出産・育児のため」が突出して高い

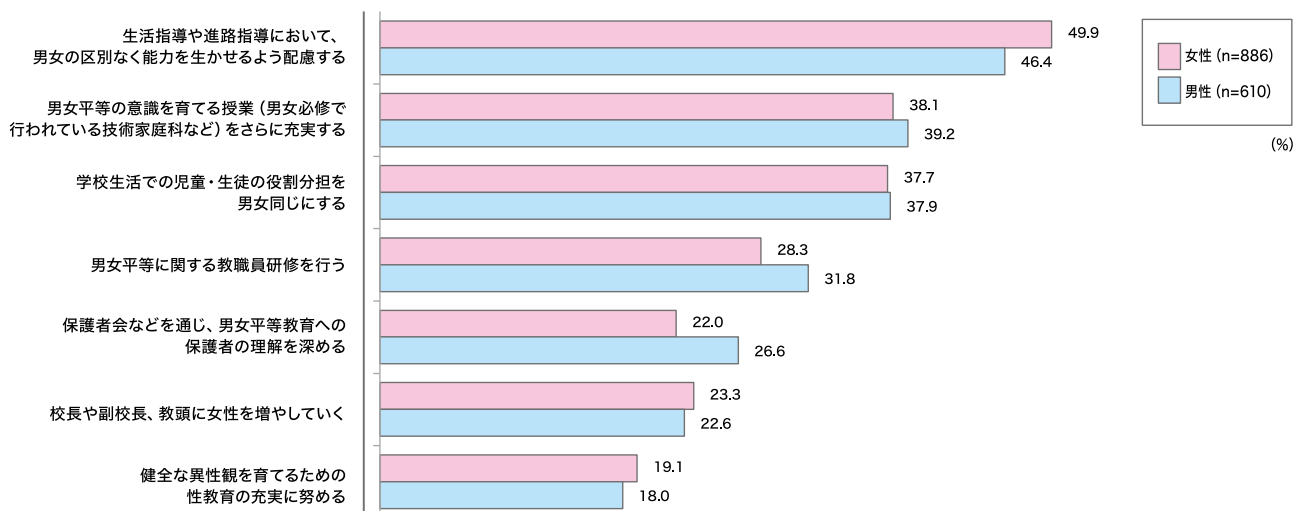


6 男女平等教育について

男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと（上位7項目）

〈複数回答〉

「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が約5割で最も高い

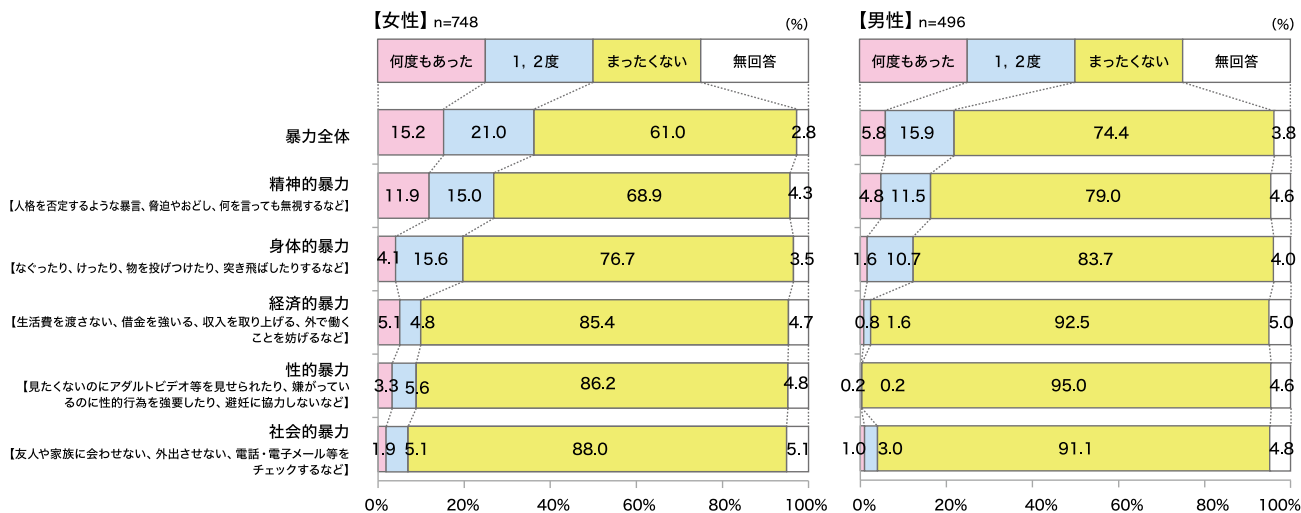


7 人権について

配偶者から受けたことのある暴力

対象：配偶者、婚姻届を出していない事実婚や生活の本拠をともにする交際相手(同棲相手)、別居中の夫婦、元配偶者

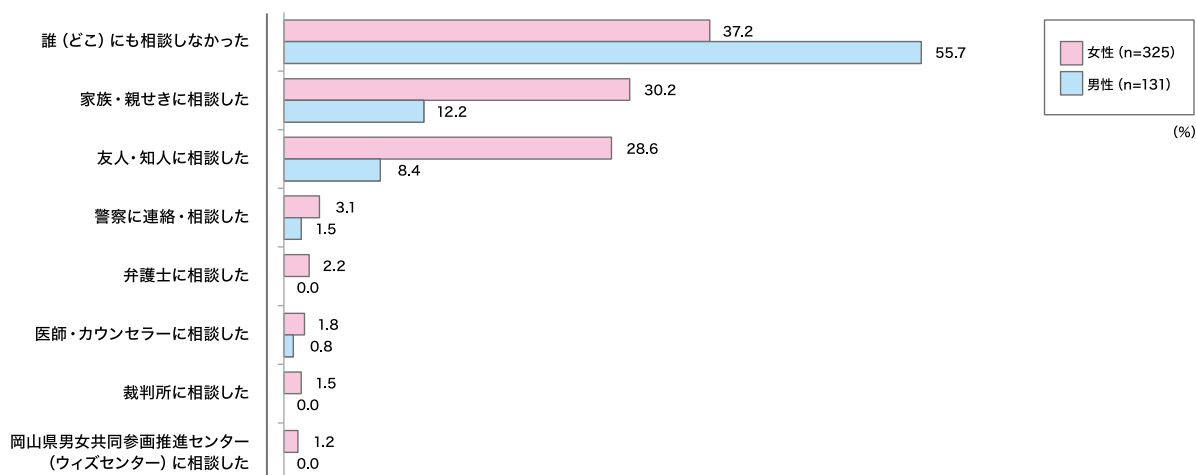
配偶者のいる(いた)女性の約4割、男性の約2割は配偶者からの暴力を受けたことがある



配偶者や交際相手からの暴力についての相談先 (上位8項目)

〈複数回答〉

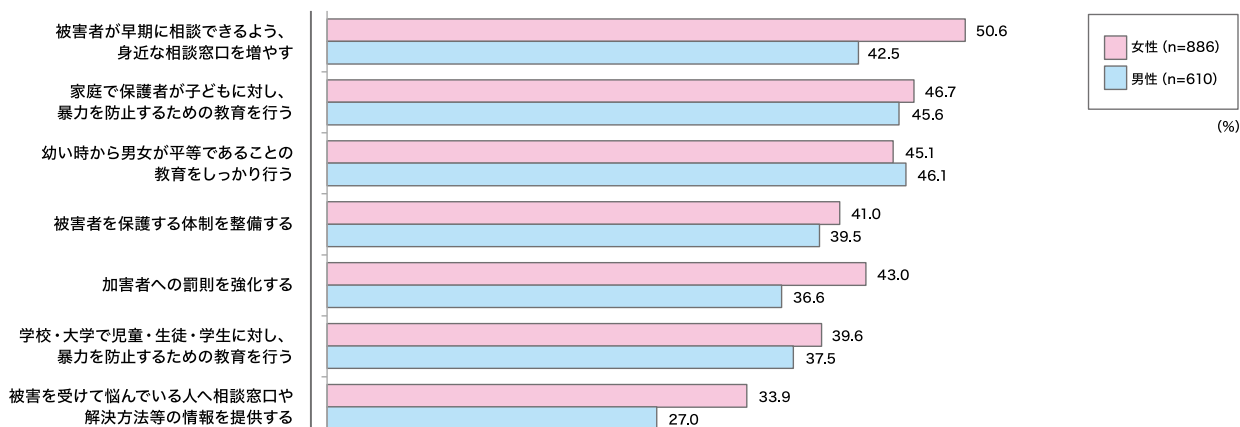
「誰(どこ)にも相談しなかった」が女性で約4割、男性で約6割、相談先は「家族・親せき」、「友人・知人」が多い



男女間の暴力を防止するために必要なこと (上位7項目)

〈複数回答〉

女性は「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」、男性は「幼い時から男女が平等であることの教育をしっかり行う」が最も高い

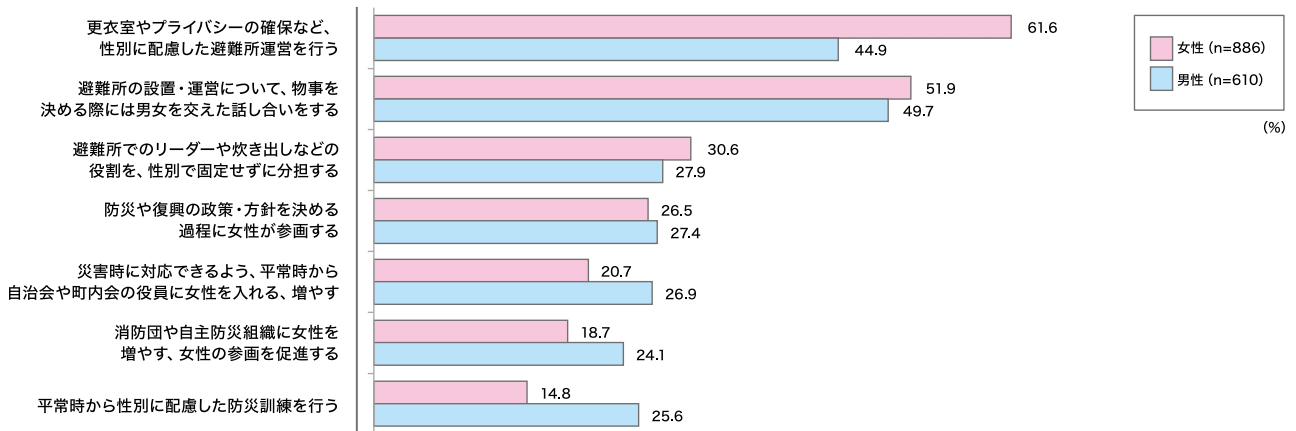


8 防災について

性別の違いに気を配った防災・災害対策に必要なこと（上位7項目）

〈複数回答〉

☑ 女性は「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」、男性は「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」が最も高い

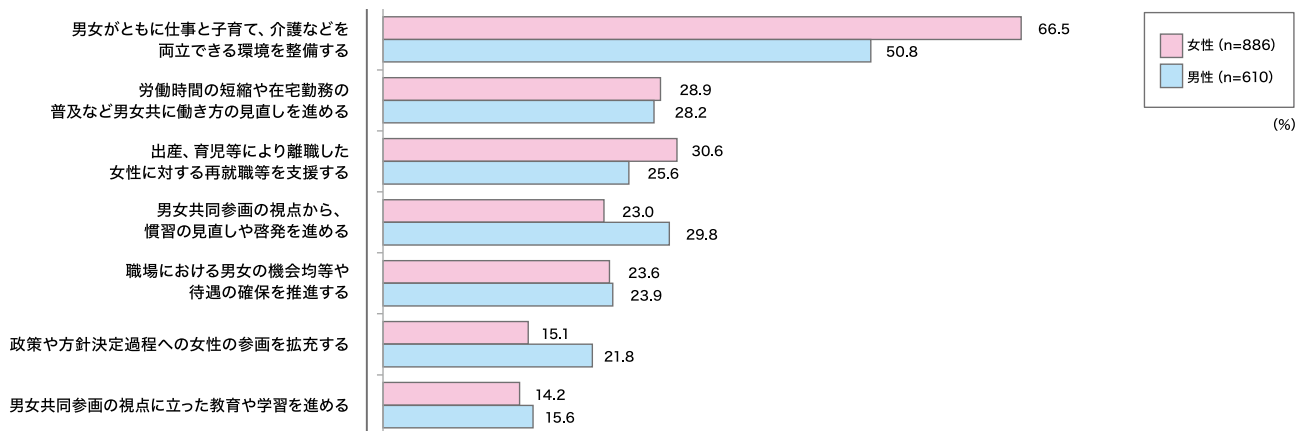


9 男女共同参画の推進について

男女共同参画社会の実現のために県や市町村が力を入れていくべきこと（上位7項目）

〈複数回答〉

☑ 「男女がともに仕事と子育て、介護などを両立できる環境を整備する」が女性で6割を超える



調査の概要

調査地域：岡山県全域
 調査対象：岡山県内全市町村から無作為に抽出した満18歳以上の男女3,001名
 調査方法：郵送配布・郵送回収
 調査期間：令和元年10月2日～令和元年10月25日
 回収数：1,537件（回収率51.2%）
 有効回収数：1,532件（有効回収率51.0%）
 うち女性：886件（57.8%）
 うち男性：610件（39.8%）
 うちその他：2件（0.1%）
 うち無回答：34件（2.2%）

岡山県県民生活部男女共同参画青少年課

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
 TEL：086-226-0553 FAX：086-225-2949
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/26/>